

国際保健セミナー in Okayama

沖縄から洞爺湖へ:「人間の安全保障」からみた 三大感染症への新たな提言 アウトリーチセミナー

三大感染症—エイズ・結核・マラリアが、全世界の、特に開発途上国の個人および地域社会の生命と暮らしを脅かすものであることが、「人間の安全保障」への関心の高まりとともに広く認識されるようになってきて久しい。2002年に設立された世界基金は、グローバルな規模での感染症の蔓延を抑える上で大きな役割を担ってきたが、一方において、その複雑化した脅威により効果的に対応する必要性が議論されるようになってきている。本セミナーは「国際シンポジウム-沖縄から洞爺湖-「人間の安全保障」から見た三大感染症への新たなビジョン」のフォローアップとして開催される。三大感染症を初めとする国際保健の課題に対して、様々な連携・協力のあり方、また地元の最新の取り組みについて考え、ともに学ぶことを目的とするものである。

主催: 特定非営利活動法人AMDA、特定非営利活動法人AMDA社会開発機構
協力: 財団法人日本国際交流センター、世界基金支援日本委員会

◆日時 5月26日(月) 2時~5時 ◆場所 ホテルグランヴィア岡山 クリスタルの間

◆プログラム

2:00 開会 挨拶

(財)日本国際交流センター 理事長 山本 正(世界基金支援日本委員会ディレクター)

第1セッション 三大感染症への新たなビジョン

司会:(財)日本国際交流センター 理事長 山本 正

2:10 Ms. Caroline KAYONGA キャロライン・カヨンガ
ルワンダ保健省事務次官

2:25 Dr. Sin SOMUNY シン・ソムニー
MEDICAM 事務局長

2:40 Dr.Christoph BENN クリストフ・ベン
世界エイズ・結核・マラリア対策基金(世界基金)渉外担当ディレクター

2:55 質疑応答

3:10 Break

第2セッション 現場の取り組みについて

司会:AMDAグループ代表 菅波茂

3:25 AMDA-MINDS よりホンジュラス事業の紹介
(特活)AMDA社会開発機構 理事長 鈴木俊介

3:55 岡山での感染症の取り組み—エイズ
岡山市保健所 所長 中瀬克己

4:10 岡山での感染症の取り組み—マラリア
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(薬学系) 博士研究員 平本晃子

4:25 岡山での感染症の取り組み—結核
独立行政法人国立病院機構南岡山医療センター 統括診療部長 多田敦彦

4:40 意見交換

5:00 閉会

(敬称略)